

ガイヘル情報交換会のお知らせ

日 時：2012年12月21日(金)19:00~21:00 (+二次会付)

場 所：多摩ボランティアセンター永山分室 会議室

内 容：各市区の情報交換

「事業所と利用者の関係について」

2~3か月に一度各市区回り持ちで開かれているガイヘル情報交換会。今回は多摩が担当という事で上記のとおり開催します。

制度としてのガイヘル(移動支援)については、今後新たな動きが始まっていくようですが、現時点では制度としての激変はなく、昨今の情報交換会では相談支援事業との関係や制度の中身やそのあり様について各地から集まる人たちとで状況や想いの交換をしています。

今回は多摩が担当という事で前号の「第4回自立生活支援を考える会に参加して」でも書いたように、制度の中身や事業所の現状等を交換し合いつつ、当事者にとってのガイヘル(並びに制度)について考えていきたいと思えます。

前号で自立生活支援を担う時に起こる「『事業として担う人』と『関係性で担う人』の間にあるもの。前者は枠を決めて関わる事で継続的に担う事ができ、後者は枠を超えて担う。前者に合わせれば後者は縛られる感が増すし、後者に合わせれば継続した担い方ができない。その矛盾したものをいかにつなげていくかという「と」の問題。」と書きました。

今回の情報交換会では、ぜひ事業所の立場で様々な状況と想いを出して欲しいと願っています。又、ガイヘル等制度を使っている人たちや制度を使っている当事者の身近にいる人たちにも参加していただき、それぞれの立場からの意見も出しあいともに考えられればと願っています。

このようなテーマで開いてみたいと思っている私自身は、各事業所が置かれている状況がある程度知り、当事者が置かれている状況がある程度知り、「と」に含まれる大きな課題がある事は知りつつもその中身が何なのかはまだまだ見えていません。

事業と関係性それぞれに当事者を支援していくのか？当事者との関係性をもって当事者と事業を利用していくのか？サービスを依頼する側も依頼される側も当事者自身が語れない場合に起こる悶々とした想いがあるように思います。悶々とした想いをもちつつも考えてばかりでは何も始まらないし、待ったの利かない現実も多々あると思えます。

「本人にとってのガイドヘル制度」にしていきたいと願う人たちが集まり始めたこの会であり、又その担い手となる人たちがいて成り立つ制度でもあり、様々な立場から共に考える機会にしたいと思えます。お誘い合わせてご参加ください。 岩橋 誠治

※二次会に参加される方は会場の関係上で12/19までにたこの木までご連絡ください。